

リモートコントローラー

設定ソフトウェア RM-IP Setup Tool ガイド
ソフトウェアバージョン 1.1

目次

はじめに	3
本書の使いかた	3
ソフトウェアのダウンロードと起動	3
PC を用意する	3
ソフトウェアをダウンロードする	3
ソフトウェアを起動する	4
表示言語を切り替える	4
カメラ、リモートコントローラーの設定	5
カメラを設定する	5
リモートコントローラーを設定する	6
カメラテーブルの作成	8
その他	11
設定内容を保存する	11
保存したカメラテーブルを読み込む	11
ソフトウェアを終了する	11
ソフトウェアを削除する	11
ファイアウォールを設定する	11
Windows 7 をご利用の場合	11
Windows 8.1 および Windows 10 をご利用の 場合	12

権利者の許諾を得ることなく、このソフトウェアおよびユーザーガイドの内容の全部または一部を複製すること、およびこのソフトウェアを賃貸に使用することは、著作権法上禁止されております。

©2017 Sony Corporation

ソフトウェアを使用したことによるお客様の損害、または第三者からのいかなる請求についても、当社は一切その責任を負いかねます。

万一、製造上の原因による不良がありましたらお取り替えいたします。それ以外の責はご容赦ください。

このソフトウェアの仕様は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

・ Microsoft および Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

・ Intel および Core は、アメリカ合衆国および他の国におけるインテルコーポレーションの登録商標です。

その他、本書で登場するシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中で ®、TM マークは明記していません。

はじめに

本書は VISCA over IP 対応のソニー製リモートコントローラーおよびカメラを LAN 接続で使用するための設定を行う設定用ソフトウェア「RM-IP Setup Tool」の取扱説明書です。

操作の前にリモートコントローラー、カメラ、および本ソフトウェアをインストールする PC を正しく接続してください。また、設定を行うときには、各機器の電源を入れてください。

接続方法などについては、各機器の取扱説明書をご覧ください。

本書の使いかた

本書は、コンピューターの画面上に表示して読まれることを想定して書かれています。

ここでは、ご活用いただくために知っておいていただきたい内容を記載しています。

操作の前にお読みください。

関連ページへのジャンプ

コンピューターの画面上でご覧になっている場合、関連ページが表示されている部分をクリックすると、その説明のページへジャンプします。関連ページが簡単に検索できます。

画面例について

本書に記載されている画面は、説明のためのサンプルです。実際の画面とは異なることがありますので、ご了承ください。

本書のプリントアウトについて

本書をプリントする場合、お使いのシステムによっては、画面やイラストの細部までを再現できないことがありますが、ご了承ください。

本書の表記について

本書では VISCA over IP 対応リモートコントローラーを「リモートコントローラー」、本ソフトウェアで設定可能な IP カメラ全般を「カメラ」と表記します。

ソフトウェアのダウンロードと起動

PC を用意する

ソフトウェアをインストールする PC を用意してください。

必要なシステム構成は次のとおりです（2017 年 12 月現在）。

- ・ CPU：Intel Core2 Duo 2.4GHz 以上推奨
- ・ メモリー：1GB 以上推奨
- ・ ハードディスク：50MB 以上の空き容量
- ・ OS：Microsoft Windows 7、Windows 8.1 Pro、Windows 10 Pro の 32 ビット版または 64 ビット版

ご注意

- ・ お使いのコンピューターにパーソナルファイアウォールソフトウェアや、アンチウイルスソフトウェアなどを使用している場合、RM-IP Setup Tool が正しく動作しないことがあります。このような場合は、該当のソフトウェアを無効にしてください。
- ・ Windows 7、Windows 8.1 および Windows 10 をご利用の場合は、「Windows ファイアウォール機能」を「無効」にしないと RM-IP Setup Tool が正常に動作しません。設定のしかたは、「Windows 7 をご利用の場合」（11 ページ）、または「Windows 8.1 および Windows 10 をご利用の場合」（12 ページ）をご覧ください。
- ・ Windows 10 をご利用の場合は、タブレットモードはオフにしてください。

ソフトウェアをダウンロードする

- 1 ダウンロードサイトから「RM-IP Setup Tool」をダウンロードする。
- 2 zip ファイルを解凍し、「RM-IPSetupTool.exe」を PC の任意の場所にコピーする。
- 3 「RM-IPSetupTool.exe」をダブルクリックする。
- 4 ソフトウェアをインストールした PC をリモートコントローラーやカメラと同じセグメントのネットワークに接続する。
PC の接続については、リモートコントローラーの取扱説明書をご覧ください。

- 5 PCのネットワーク設定を行う。
PCのIPアドレスおよびサブネットマスクは、設定対象のリモートコントローラーやカメラと同一のセグメントで設定してください。

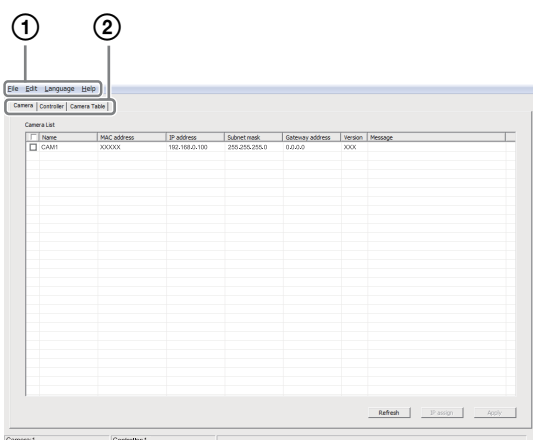
ご注意

PCと異なるセグメントに接続されているリモートコントローラーやカメラは設定できません。

ソフトウェアを起動する

RM-IP Setup Toolのアイコンをダブルクリックすると、RM-IP Setup Toolが起動して、次の設定画面が表示されます。

設定画面は各部の名称と機能は次のとおりです。



番号	名称	機能
①	メニューバー	クリックして表示されるサブメニューを選ぶと、該当するメニュー機能を実行します。
②	設定画面切り替えタブ	クリックすると、それぞれの設定画面が表示されます。 [Camera] タブ：カメラの設定画面が表示されます (5 ページ) [Controller] タブ：リモートコントローラーの設定画面が表示されます (6 ページ) [Camera Table] タブ：カメラテーブルの設定画面が表示されます (8 ページ)

ご注意

画面下部のボタン類は選択中のタブにより異なります。

表示言語を切り替える

必要に応じて画面の表示言語を英語と中国語で切り替えられます。初期設定は英語です。

- 1 メニューバーの [Language] をクリックし、言語を選択する。
表示言語を切り替えると、再起動が必要なことを示すメッセージが表示されます。
- 2 [OK] をクリックする。
- 3 RM-IP Setup Tool を再起動する。

再起動後、画面が選択した言語表示に切り替わります。

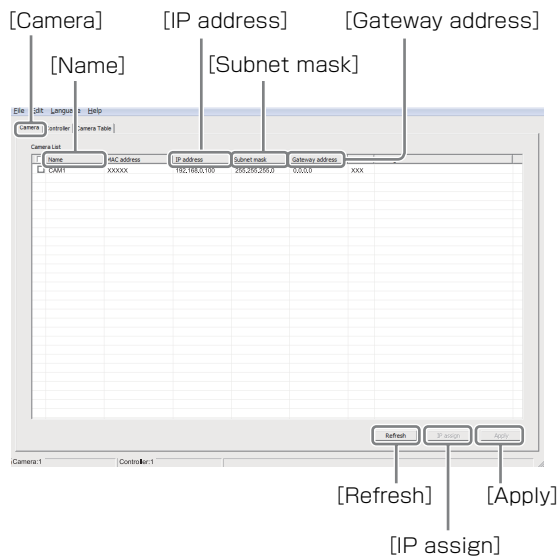
カメラ、リモートコントローラーの設定

リモートコントローラーでカメラを操作するため、カメラ、リモートコントローラーの IP アドレスを設定します。

初めてカメラやリモートコントローラーを設置したとき、または新しくカメラやリモートコントローラーを接続したときは、この設定を行ってください。

カメラを設定する

- 1 リモートコントローラー、カメラ、その他ネットワークに接続されている機器の電源を入れる。
- 2 RM-IP Setup Tool を起動し、[Camera] タブをクリックする。
[Camera List] 画面が表示されます。
リストには同一のセグメントに接続されているカメラが表示されます。



[MAC address] は機器固有のアドレスで変更できません。

ご注意

- ・ リストのカメラ台数とネットワーク上の実際のカメラ数が異なる場合は、[Refresh] をクリックして画面を更新して確認してください。再検出後に数が合わない場合は、リモートコントローラーやカメラの取扱説明書を参考に接続状態や設定を確認してください。
- ・ 起動時に「ユーザアカウント制御（認識できないプログラムがこのコンピュータへのアクセスを要

求しています）」メッセージが表示されることがあります。この場合は、[許可] をクリックしてください。

- ・ RM-IP Setup Tool をインストールした PC と異なるセグメントに接続されているカメラは検出できません。異なるセグメントのカメラを設定するときは、「異なるセグメントのカメラをコントロールするには」（10 ページ）の設定を行ってください。

ヒント

MAC address の確認方法は、各機器の取扱説明書をご覧ください。

3

- カメラの名前を設定する。
[Name] にカメラの名前を入力します。
カメラの名前はカメラテーブル作成時に使用します。設定変更時に特定しやすい名前にすると便利です。

ヒント

カメラの名前には以下の文字が使用できます（最大 8 文字まで）。

スペース、! # \$ % & ' () * + - . / 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 ; < = > ? @ A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z [\] ^ _ ` a b c d e f g h i j k l m n o p q r s t u v w x y z { | }

4

- IP アドレスを設定する。
- ・ [IP address] に IP アドレスを入力します。
 - ・ [Subnet mask] にサブネットマスクを入力します。
 - ・ [Gateway address] にデフォルトゲートウェイのアドレスを入力します。

カメラの名前や IP アドレスなどを変更したカメラのチェックボックスにチェックが入ります。

ご注意

[Subnet mask] [Gateway address] の入力は、BRBK-IP10/IP7Z のファームウェアバージョン 2.1 以上で対応しています。

5

- [Apply] をクリックする。
チェックが入っているカメラに設定が反映されます。

ご注意

- ・ [Apply] をクリックする前に [IP assign] をクリックして IP アドレスを自動で割り当てると、設定が変更されます。
- ・ カメラによっては設定反映後に再起動することがあります。この場合、再起動が完了してカメラが正常に映像を出力するまでは [Refresh] をクリックしないでください。また、再起動中に IP アドレ

スなどを再設定し、[Apply] をクリックしても設定は正しく反映されません。再起動が完了したことを確認して、[Apply] をクリックしてください。

- 6 [Refresh] をクリックする。
最新の設定を反映した画面が表示されます。

ヒント

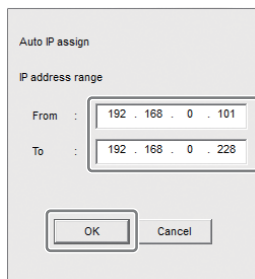
複数のカメラを接続している場合、カメラリストに表示される MAC アドレスでカメラの個別認識が可能です。あらかじめ MAC アドレスを控えて作業を行うことをおすすめします。カメラの MAC アドレスが分からない場合は、以下の手順でカメラを 1 台ずつ接続して設定する方法をお試しください。

1. 設定したいカメラ 1 台の電源のみを入れる。
2. [Camera List] 画面の [Refresh] をクリックする。
電源が入っているカメラのみリストで表示されます。
3. カメラの設定をする。
4. 手順 1～3 を繰り返し、他のカメラの設定をする。

複数のカメラの IP アドレスを自動で割り当てるときは

複数のカメラの IP アドレスを自動で割り当てることができます。

- 1 IP アドレスを割り当てるカメラのチェックボックスにチェックを入れる。
- 2 [Camera List] 画面の [IP assign] をクリックする。
[Auto IP assign] 画面が表示されます。
- 3 [IP address range] に IP アドレス範囲を入力する。
[From] に開始 IP アドレス、[To] に終了 IP アドレスを入力する。
- 4 [OK] をクリックする。



指定した範囲内の IP アドレスがカメラに自動的に割り当てられます。

- 5 [Camera List] 画面の [Apply] をクリックして、設定を反映する。
設定を中止するには、[Cancel] をクリックします。

ご注意

ネットワーク上のカメラ台数が指定した範囲の IP アドレス数より多い場合、自動で割り当てできないカメラが発生します。この場合 [Apply] をクリックした後、自動割り当てができなかったカメラのチェックボックスにチェックを入れ、再度 IP アドレスの自動割り当てを行ってください。

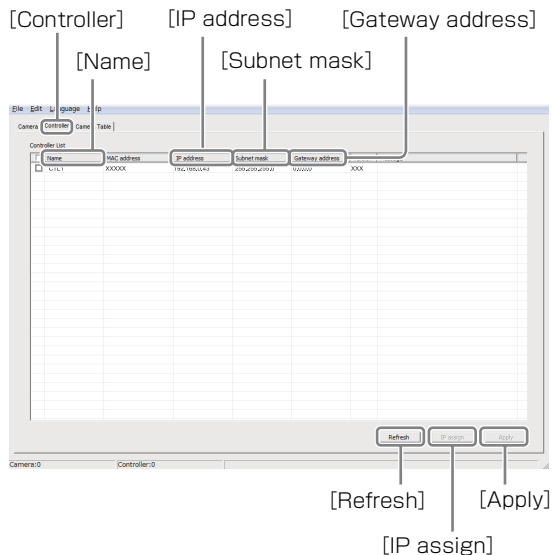
リモートコントローラーを設定する

- 1 リモートコントローラー、カメラ、その他ネットワークに接続されている機器の電源を入れる。

ご注意

設定を更新するため、外部からのリモートコントローラーへのアクセスを有効にしてください。
詳しくはそれぞれのリモートコントローラーの取扱説明書をご覧ください。

- 2 RM-IP Setup Tool を起動し、[Controller] タブをクリックする。
[Controller List] 画面に検出されたリモートコントローラーが表示されます。



[MAC address] は機器固有のアドレスで変更できません。

ご注意

- ・ リストのリモートコントローラー台数とネットワーク上の実際のリモートコントローラー台数が異なる場合は、[Refresh] をクリックして画面を更新して確認してください。再検出後に数が合わない場合は、リモートコントローラーの取扱説明

書を参考に接続状態や設定などを確認してください。

- ・起動時に「ユーザアカウント制御（認識できないプログラムがこのコンピュータへのアクセスを要求しています）」メッセージが表示されることがあります。この場合は、[許可] をクリックしてください。
- ・異なるセグメントに接続されているリモートコントローラーは検出できません。

ヒント

MAC address の確認方法は、各機器の取扱説明書をご覧ください。

3 [Name] にリモートコントローラーの名前を入力する。

リモートコントローラーの名前はカメラテーブル作成時に使用します。設定変更時に特定しやすい名前にするると便利です。

ヒント

リモートコントローラーの名前には以下の文字が使用できます（最大8文字まで）。

スペース、!#\$%&'()*+,-./0123456789;<=>?@ABCDEFGHIJKLMN OPQRSTUVWXYZ[\]^_`abcdefghijklmnopqrstu vwxyz{|}

4 IP アドレスを設定する。

- ・ [IP address] に IP アドレスを入力します。
- ・ [Subnet mask] にサブネットマスクを入力します。
- ・ [Gateway address] にデフォルトゲートウェイのアドレスを入力します。

リモートコントローラーの名前や IP アドレスなどを変更したリモートコントローラーのチェックボックスにチェックが入ります。

5 [Apply] をクリックする。

チェックが入っているリモートコントローラーに設定が反映されます。

ご注意

- ・ [Apply] をクリックする前に [IP assign] をクリックして IP アドレスを自動で割り当てると、設定が変更されてしまいます。
- ・ リモートコントローラーによっては設定反映後に再起動することがあります。この場合、コントローラーの再起動が完了するまでは、[Refresh] をクリックしないでください。また、再起動中に IP アドレスなどを再設定し、[Apply] をクリック

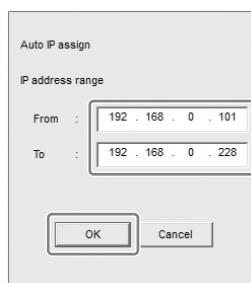
しても設定は正しく反映されません。再起動が完了したことを確認して、[Apply] をクリックしてください。

6 [Refresh] をクリックする。 最新の設定を反映した画面が表示されます。

複数のリモートコントローラーの IP アドレスを自動で割り当てるときは

複数のリモートコントローラーの IP アドレスを同時に自動で割り当てることができます。

- 1 IP アドレスを割り当てるリモートコントローラーのチェックボックスにチェックを入れる。
- 2 [Controller List] 画面の [IP assign] をクリックする。
[Auto IP assign] 画面が表示されます。
- 3 [IP address range] に IP アドレス範囲を入力する。
[From] に開始 IP アドレス、[To] に終了 IP アドレスを入力する。
- 4 [OK] をクリックする。



指定した範囲内の IP アドレスがリモートコントローラーに自動的に割り当てられます。

- 5 [Controller List] 画面の [Apply] をクリックして、設定を反映する。
設定を中止するには、[Cancel] をクリックします。

ご注意

ネットワーク上のリモートコントローラー台数が指定した範囲の IP アドレス数より多い場合、自動で割り当てできないリモートコントローラーが発生します。この場合 [Apply] をクリックした後、自動割り当てができなかったリモートコントローラーのチェックボックスにチェックを入れ、再度 IP アドレスの自動割り当てを行ってください。

カメラテーブルの作成

リモートコントローラーでカメラを操作するために、ネットワーク上のカメラにカメラ番号を割り当てます。カメラ番号を割り当てたカメラの一覧を「カメラテーブル」といいます。

カメラテーブルは各リモートコントローラーごとに設定します。

ご注意

グループ数はリモートコントローラーごとに異なります。各機器の取扱説明書をご確認ください。

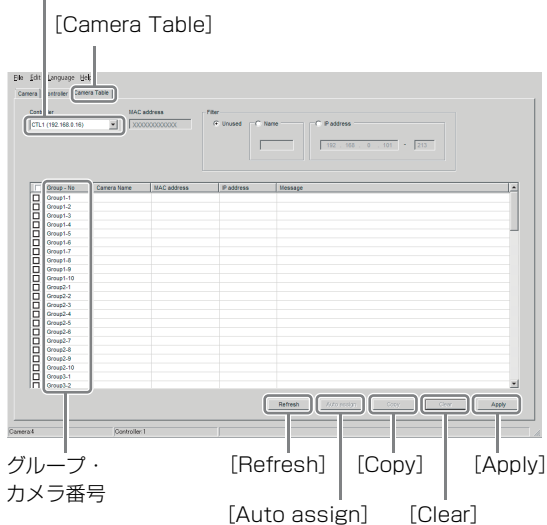
- 1 リモートコントローラー、カメラ、その他ネットワークに接続されている機器の電源を入れる。

ご注意

設定を更新するため、外部からのリモートコントローラーへのアクセスを有効にしてください。詳しくはそれぞれのリモートコントローラーの取扱説明書をご覧ください。

- 2 RM-IP Setup Tool を起動し、[Camera Table] タブをクリックする。
[Camera Table] 画面が表示されます。

[Controller]



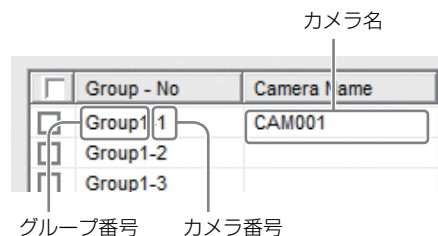
- 3 [Controller] プルダウンメニューからカメラテーブルを設定したいリモートコントローラーを選ぶ。

ご注意

- ・異なるセグメントに接続されているリモートコントローラーは選択できません。
- ・リモートコントローラーの名前が正しくプルダウン表示されないときは、[Controller] タブをク

リックして [Controller List] 画面を更新してください。

- 4 割り当てたいグループ・カメラ番号の [Camera Name] のカメラ名をクリックする。
「カメラを設定する」(5 ページ) で設定したカメラ名がプルダウンメニューで表示されます。
- 5 プルダウンメニューから割り当てたいカメラを選ぶ。



グループ・カメラ番号を設定、変更したカメラのチェックボックスにチェックが入ります。

- 6 手順 4 ~ 5 の操作を繰り返して、すべてのカメラを割り当てる。
- 7 [Apply] をクリックする。

ご注意

- ・ [Apply] をクリックする前に [Auto assign] をクリックしてカメラ・グループ番号を自動で割り当てると、設定が変更されてしまいます。
- ・ カメラの名前が正しくリスト表示されないときは、一度 [Camera] タブをクリックして [Camera List] 画面を更新してください。
- ・ リモートコントローラーによっては設定反映後に再起動することがあります。この場合、コントローラーの再起動が完了するまでは、[Refresh] をクリックしないでください。また、再起動中に IP アドレスなどを再設定し、[Apply] をクリックしても設定は正しく反映されません。再起動が完了したことを確認して、[Apply] をクリックしてください。

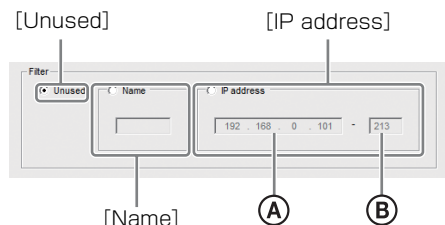
- 8 [Refresh] をクリックする。
現在の設定を反映した画面が表示されます。

ご注意

複数のリモートコントローラーを接続している場合、[Camera Table] 画面でリモートコントローラーを切り替えてから [Refresh] をクリックすると、カメラテーブルの情報がすべて空白で表示される場合があります。このようなときはもう一度 [Refresh] をクリックしてください。

特定のカメラのみリスト表示されるようにするには

複数のカメラを接続している場合、カメラを選びやすいように特定のカメラのみリスト表示することができます。設定は [Camera Table] 画面の [Filter] で行います。



- ・ [Name] を選んで名前を入力すると、その名前を含むカメラのみをリスト表示します。
- ・ [IP address] を選んで IP アドレスを入力すると、指定した範囲内の IP アドレス (A ~ B) のカメラのみをリスト表示します。
- ・ [Unused] を選ぶと、すべてのカメラをリスト表示します。

カメラに自動的にグループ、カメラ番号を割り当てるには

- 1 [Camera Table] 画面の [Auto assign] をクリックする。
[Auto camera assign] 画面が表示されます。
- 2 次のいずれかの操作を行う。
 - ・ [Camera List] 画面で設定したすべてのカメラにグループ・カメラ番号を割り当てるには、[Camera Name order] を選びます。
 - ・ 指定範囲内の IP アドレスのカメラにグループ・カメラ番号を割り当てるには、[IP address range] を選び、IP アドレスの範囲を指定します。
- 3 [OK] をクリックする。
自動的にグループ・カメラ番号がカメラに割り当てられます。

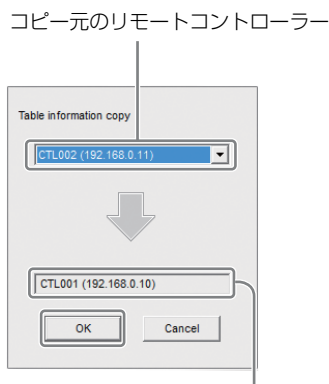


- 4 [Apply] をクリックする。
設定を中止するには、[Cancel] をクリックします。

他のリモートコントローラーのカメラテーブルをコピーするには

既存のカメラテーブルの一部またはすべてをネットワーク上の他のリモートコントローラーにコピーすることができます。

- 1 コピー先のリモートコントローラーを選び、コピーで上書きするグループ・カメラ番号のチェックボックスにチェックを入れる。
テーブルをすべてコピーで上書きする場合は、すべてのチェックボックスにチェックを入れてください。
- 2 [Copy] をクリックする。
[Table information copy] 画面が表示されます。
- 3 コピー元のリモートコントローラーをプルダウンメニューから選ぶ。
- 4 [OK] をクリックする。



コピー先のリモートコントローラー
(選択中のリモートコントローラー)

カメラテーブルがコピー先のリモートコントローラーにコピーされます。

- 5 [Apply] をクリックして設定を反映する。
設定を中止するには、[Cancel] をクリックします。

ご注意

セグメントの異なるリモートコントローラー間でのカメラテーブルはコピーできません。「設定内容を保存する」(11 ページ) の [Export] [Import] 機能を使用してください。

グループ・カメラ番号を消去するには

消去したいグループ・カメラ番号にチェックを入れ、[Clear] をクリックします。

異なるセグメントのカメラをコントロールするには

本ソフトウェアは、LAN ネットワーク上の同一セグメントのコントローラーとカメラだけを検出します。異なるセグメントのネットワークに設置したカメラをコントロールするには、以下の操作を行ってください。

- 1 ソフトウェアをインストールした PC とコントローラーを一時的に異なるセグメントのカメラと同じネットワークへ接続する。
- 2 カメラテーブルにコントロールするカメラを追加する。
- 3 PC とコントローラーを実際に使用するセグメントのネットワークへ接続し直す。
- 4 コントローラーのネットワーク設定を接続先のネットワークのセグメント設定に変更する。
- 5 必要に応じて同一セグメント上にあるカメラをコントローラーのカメラテーブルへ追加する。

ご注意

異なるセグメントのカメラは黄色表示されますが、カメラテーブルから削除しないでください。

RM-IP500 と RM-IP10 間でカメラテーブルをコピーするときの注意

RM-IP500 の場合は 10 グループ、RM-IP10 の場合は 16 グループを管理できます。各グループは RM-IP500 の場合は 10 台、RM-IP10 の場合は 7 台のカメラで構成されています。そのため、RM-IP500 と RM-IP10 間でカメラテーブルをコピーすると、以下の表に示すように一部のグループ・カメラ番号はコピーされません。

RM-IP500 から RM-IP10 へコピーする場合

RM-IP500		RM-IP10	
ID	Group-No	ID	Group-No
ID1	Group1-1	ID1	Group1-1
:	:	:	:
ID7	Group1-7	ID7	Group1-7
ID8	Group1-8	コピー不可	
ID9	Group1-9	コピー不可	
ID10	Group1-10	コピー不可	
ID11	Group2-1	ID8	Group2-1
:	:	:	:
ID96	Group10-6	ID69	Group10-6
ID97	Group10-7	ID70	Group10-7
ID98	Group10-8	コピー不可	
ID99	Group10-9	コピー不可	
ID100	Group10-10	コピー不可	
ID101	なし	なし	なし
:	:	:	:
ID112	なし	なし	なし

RM-IP10 から RM-IP500 へコピーする場合

RM-IP10		RM-IP500	
ID	Group-No	ID	Group-No
ID1	Group1-1	ID1	Group1-1
:	:	:	:
ID7	Group1-7	ID7	Group1-7
ID8	Group2-1	ID11	Group2-1
:	:	:	:
ID69	Group10-6	ID96	Group10-6
ID70	Group10-7	ID97	Group10-7
ID71	Group11-1	コピー不可	
:	:	:	:
ID112	Group16-7	コピー不可	

その他

設定内容を保存する

設定したカメラ、リモートコントローラー、およびカメラテーブルの設定内容をそれぞれ個別に csv ファイルで保存することができます。

- 1 保存したい設定の画面を表示する。
 - ・カメラ設定を保存するには [Camera List] 画面を表示します。
 - ・リモートコントローラー設定を保存するには [Controller List] 画面を表示します。
 - ・カメラテーブル設定を保存するには [Camera Table] 画面を表示します。
- 2 メニューバーの [File] から [Export] を選ぶ。
- 3 保存先を選んで [保存] をクリックする。

保存したカメラテーブルを読み込む

保存したカメラテーブルをコントローラーに読み込むことができます。

- 1 メニューバーの [File] から [Import] を選ぶ。ファイルの選択画面が表示されます。
- 2 読み込むファイルを選ぶ。
- 3 [Camera Table] 画面で読み込み先のコントローラーのチェックボックスにチェックを入れる。
- 4 [Apply] をクリックする。

ご注意

[Camera List] [Controller List] の読み込みはできません。

ソフトウェアを終了する

メニューバーの [File] から [Exit] を選ぶと、RM-IP Setup Tool が終了し、画面が閉じます。

ソフトウェアを削除する

保存したフォルダーから「RM-IPSetupTool.exe」を削除してください。

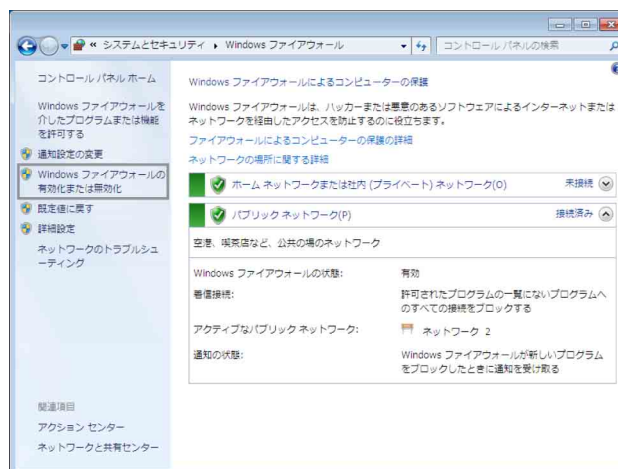
ファイアウォールを設定する

接続・設定に問題がないのに、リストにカメラが1台も表示されない場合は、Windows ファイアウォールの設定により、RM-IP Setup Tool が正常に動作していない可能性があります。この場合、Windows ファイアウォールの設定を確認してください。

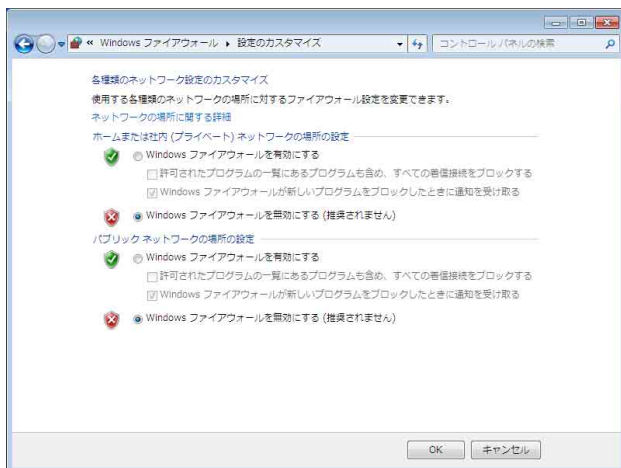
Windows 7 をご利用の場合

Windows ファイアウォールを無効にして使用する場合

- 1 Windows の [スタート] メニューから [コントロールパネル]、[システムとセキュリティ] を選択する。
- 2 [Windows ファイアウォール] をクリックする。
- 3 [Windows ファイアウォールの有効化または無効化] をクリックする。

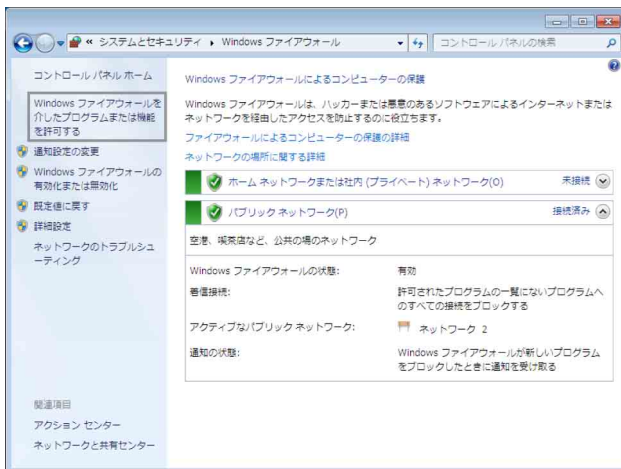


- 4 [Windows ファイアウォールを無効にする] を選択する。

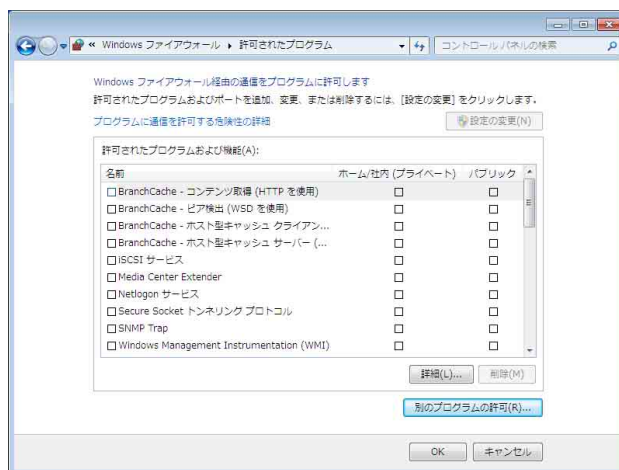


Windows ファイアウォールを有効のまま使用する場合

- 1 Windows の [スタート] メニューから [コントロールパネル]、[システムとセキュリティ] を選択する。
- 2 [Windows ファイアウォール] をクリックする。
- 3 [Windows ファイアウォールを介したプログラムまたは機能を許可する] をクリックする。



- 4 [別のプログラムの許可] を選択する。



- 5 プログラムを追加する。
[参照] をクリックしてから RM-IP Setup Tool のパスを指定して [追加] をクリックします。

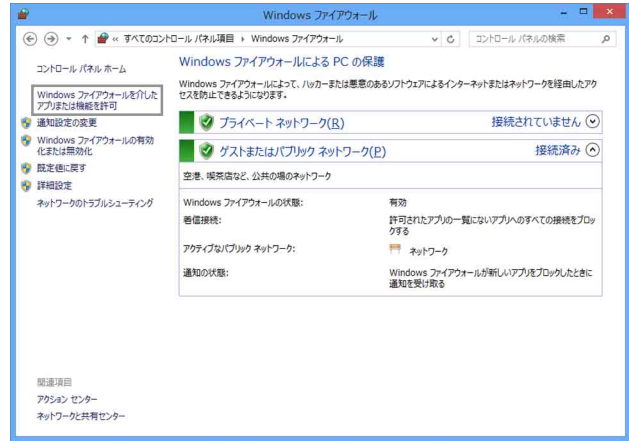
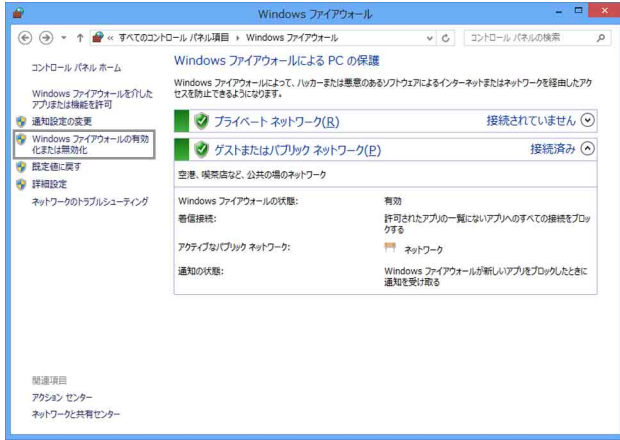


Windows 8.1 および Windows 10 をご利用の場合

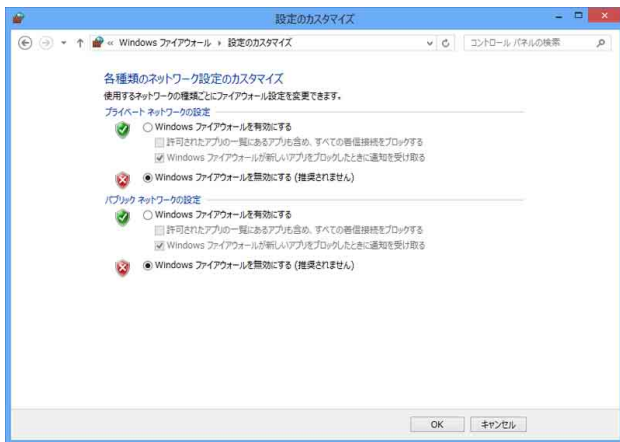
Windows ファイアウォールを無効にして使用する場合

- 1 「Windows」 キーを押しながら「X」 キーを押し、表示された一覧から「コントロール パネル」、[システムとセキュリティ] を選択する。
- 2 [Windows ファイアウォール] をクリックする。

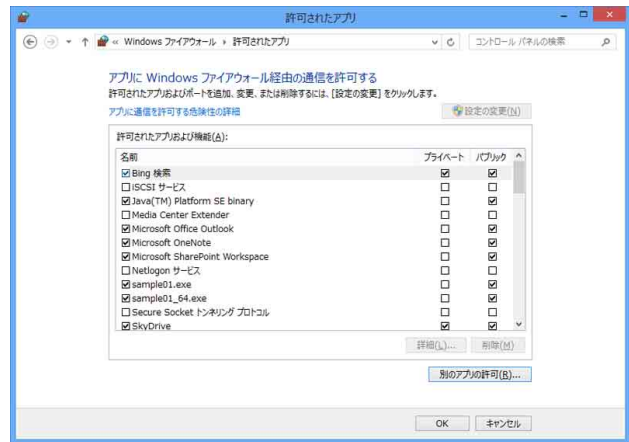
3 [Windows ファイアウォールの有効化または無効化] をクリックする。



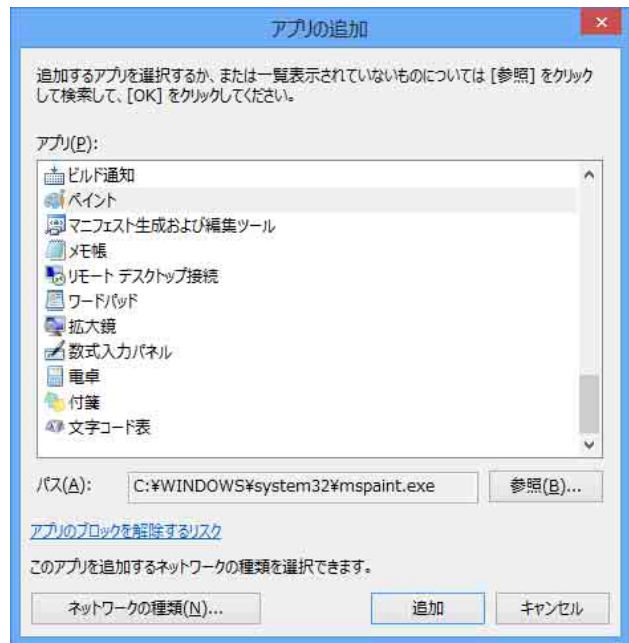
4 [Windows ファイアウォールを無効にする] を選択する。



4 [別のアプリの許可] を選択する。



5 アプリを追加する。
[参照] をクリックしてから RM-IP Setup Tool のパスを指定して [追加] をクリックします。



Windows ファイアウォールを有効のまま使用する場合

- 1** 「Windows」キーを押しながら「X」キーを押し、表示された一覧から「コントロール パネル」、[システムとセキュリティ] を選択する。
- 2** [Windows ファイアウォール] をクリックする。
- 3** [Windows ファイアウォールを介したアプリまたは機能を許可する] をクリックする。

お問い合わせは

「ソニー業務用商品相談窓口のご案内」にある窓口へ

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

<http://www.sony.co.jp/>